



# くまもと☆農家ハンター（熊本県宇城市） ～地域と畑は自分たちで守る！～

## ◆ 地域の概要

宇城市は熊本県中央部に位置し、人口は約5万9000人。基幹産業は農業で、平たん地・中山間地域・半島地域それぞれの特長を生かした農業が展開されています。

同市三角町は有明海と八代海に挟まれた宇土半島先端地区で、デコポン（不知火）を中心とするカンキツ類や花き産地として高い評価を得ています。

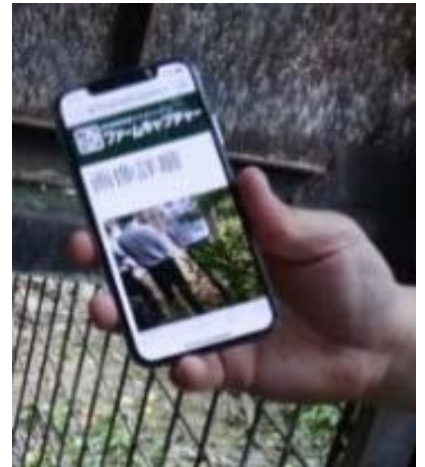


箱罠の製作

## ◆ 団体の概要

くまもと☆農家ハンターは、深刻化する獣害に立ち上がった若手農家のグループです。獣害が多発し、営農や生活にも支障が出始めたとき、「微力でも無力じゃなか」と130人が結集し、電気柵で害獣を遠ざける従来の「守り」だけにとどまらず、狩猟免許を取得して捕獲したイノシシを地域資源として活かす「攻め」へと転換しました。

これらの活動が高く評価され、令和元年度「第49回日本農業賞」において、食の架け橋部門特別賞を受賞しました。



イノシシを「見える化」

## ◆ 具体的な取り組み

### 技術開発

○県内各地の若手農家100人による自衛団を結成し、新米ハンターには箱罠 + IoTカメラを無償貸与してイノシシを「見える化」し、見回りの負担軽減を図っています。また、ビデオ会議で遠隔地のメンバーをサポートしています。

○さらに、九州農政局と共同でシンプル&リーズナブルな自作IoT発信機の開発に取り組むとともに、捕獲獣を特殊機械で堆肥化し、畑に還元しています。



箱罠に入ったイノシシ

## 地域との連携

○活動を広げるため行政、高校、大学、JA、機器メーカーと連携するとともに、工業高校で箱罫政策の事前授業を実施しています。

○また、4年間放棄された耕作放棄地を耕して電気柵を張り、子ども達とジャガイモを収穫する再生プロジェクトに成功しました。



ジビエとしての取組

## 人材育成

○リーダーが1年かけて猟師から捕獲技術を継承し、農家ハンター内で横展開を図るとともに、活動の知見を動画サイトで公開しつつマニュアル化しクラウド上で共有しています。



くまもと☆農家ハンターのメンバー

## ◆ 今後の抱負

今後は、全国各地に自然と広がるような獣害対策モデルを構築し、他自治体へのノウハウ提供事業も視野に入れています。

また、ビジネスとしての取組は始まったばかりですが、「住み続けられるまちづくり」を目標にした鳥獣害対策の新たな自治モデルは、国内外から注目を集めています。

## ◆ 問い合わせ先

名称：くまもと☆農家ハンター

住所：熊本県宇城市

電話：0964-53-0752

代表：宮川 将人 氏

**(参考) 九州農業の取組事例集「九州で先頭を走り続けている農業者等の活動」**

URL：<http://www.maff.go.jp/kyusyuu/portal/toprunner.html>

お問合せ先

九州農政局 企画調整室

担当者：田子森、西田

代表：096-211-9111 (内線4112)

ダイヤルイン：096-300-6011